

# 個人投資家さま向け説明会

## 健康をカタチに

～オムロンヘルスケアの成長戦略～

2009年12月13日

オムロン株式会社

執行役員常務

IR企業情報室長 藤原 裕



オムロンの概要	P. 3
連結業績見通しについて	P. 11
株主還元について	P. 14
健康・医療機器事業について	P. 17

## <注意事項>

1. 当社の連結決算は米国会計基準を採用しています。
2. 業績見通し等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なることがあります。実際の業績等に影響と与える重要な要因には、( i ) 当社の事業領域を取り巻く日本および海外の経済情勢、( ii ) 当社製品・サービスに対する需要動向、( iii ) 新技術開発・新商品開発における当社グループの能力、( iv ) 資金調達環境の大幅な変動、( v ) 他社との提携・協力関係、( vi ) 為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

**オムロンの概要** P. 3

連結業績見通しについて P. 11

株主還元について P. 14

健康・医療機器事業について P. 17

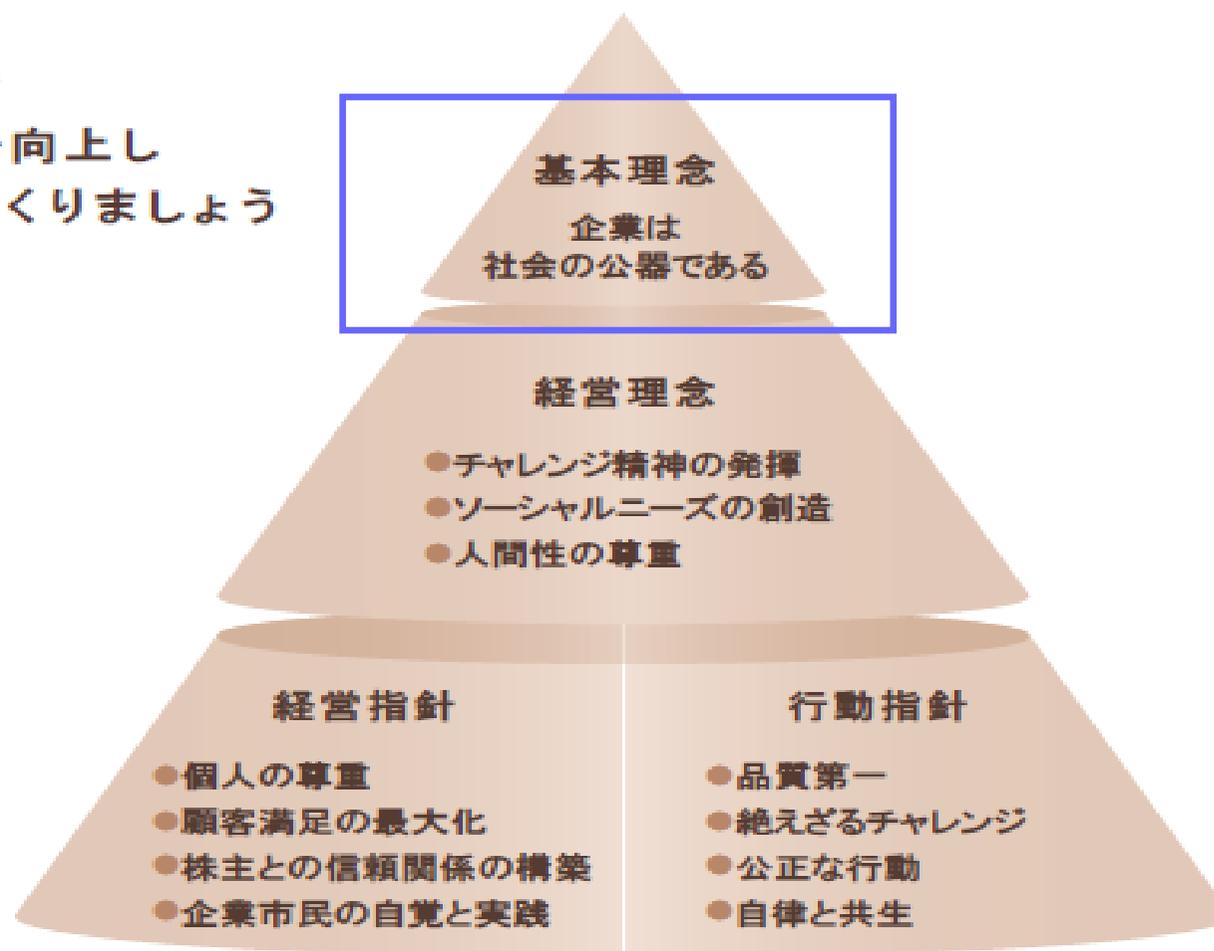
創業	1933年(昭和8年)5月10日
本社所在地	京都市下京区塩小路通堀川東入
連結売上高	6,272億円(2009年3月期連結)(うち、海外売上高50%)
連結従業員数	32,583人(うち、海外関係会社19,596人)
上場市場	東証一部、大証一部
証券コード	6645
発行済株式総数	2億3,912万株(2009年3月末現在)
時価総額	約3,716億円(2009年10月末時点、株価1,554円)
単元株	100株

➤基本となる理念は、「企業は社会の公器である」

## 社憲

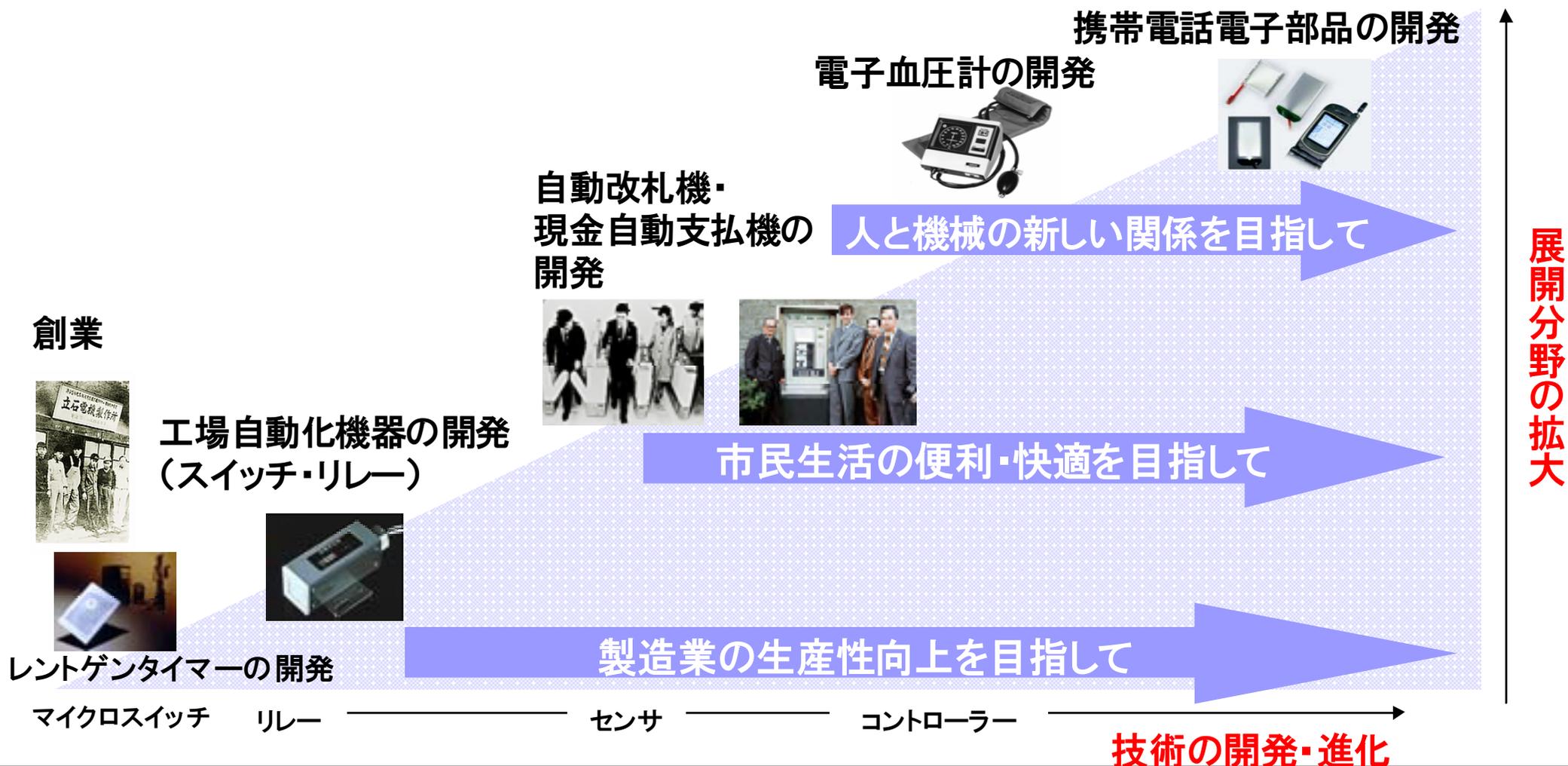
われわれの働きで  
われわれの生活を向上し  
よりよい社会をつくりましょう

## 企業理念

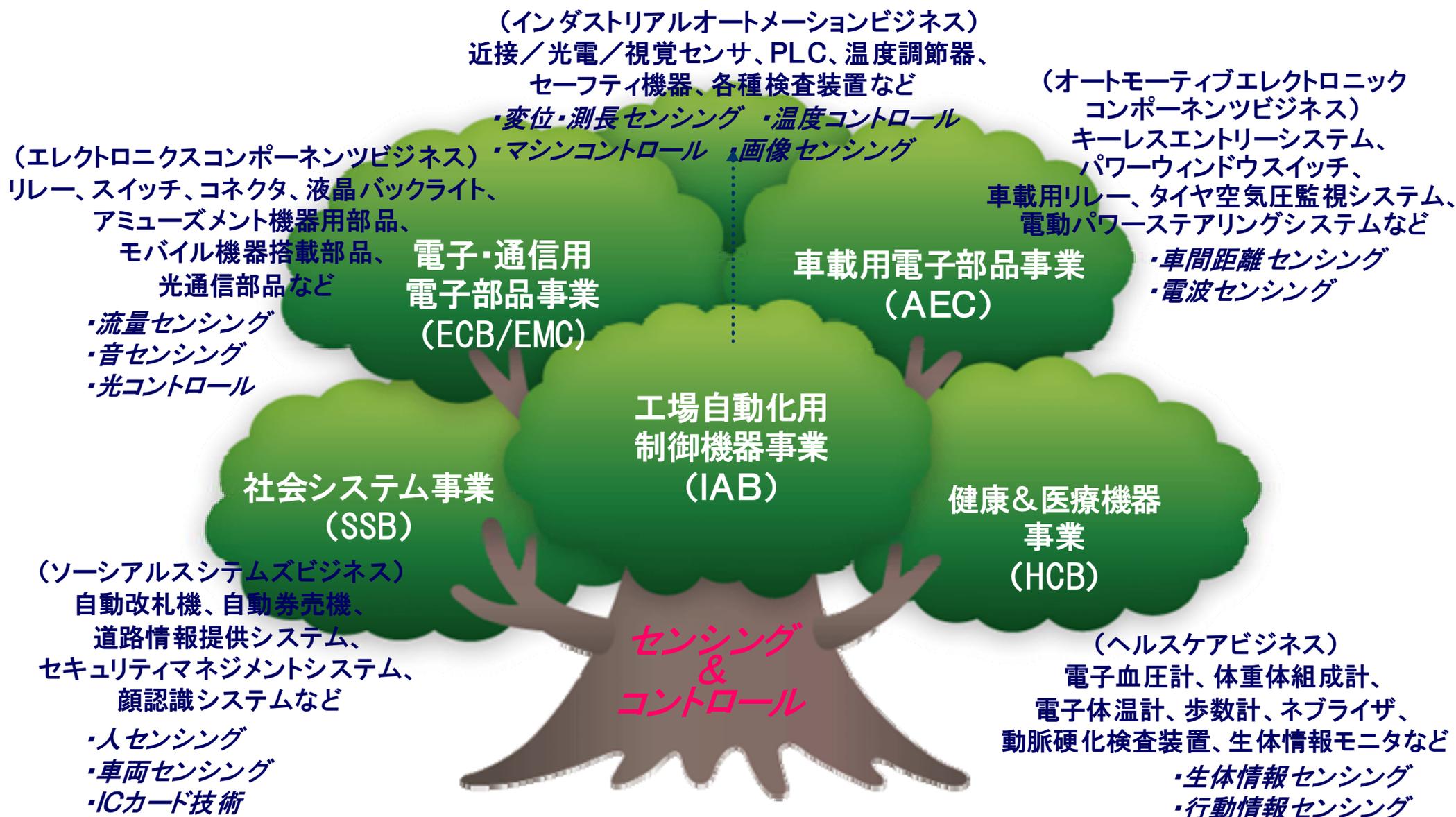


➤ センサとコントロール技術を核として、製造現場の生産性向上や、人々の生活の質向上に貢献

1933年 — 1950年 — 1960年 — 1970年 — 現在



## ➤「センシング&コントロール」技術を核に、5つの事業を展開



▶「機械に出来ることは機械にやらせる」ために、必要な基礎技術がセンサとコントロール

## オムロンの商品例

### <センサ>

光電センサ    セーフティセンサ



### <コントロール>

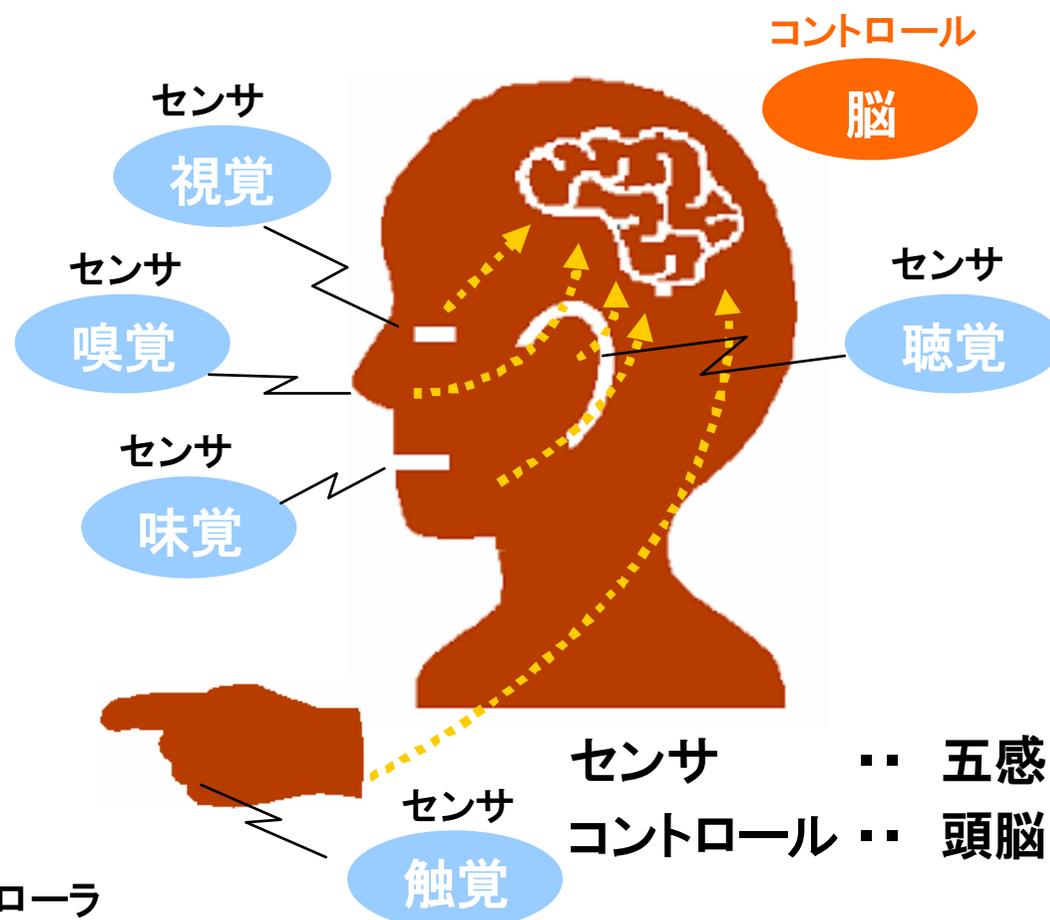
温度調節器

PLC



\*PLC・・・工場の生産ラインや機械・装置の動きを制御するコントローラ

## 人間の体で例えると



➤ 制御機器・電子部品関係の3事業が売上の約75%を占める

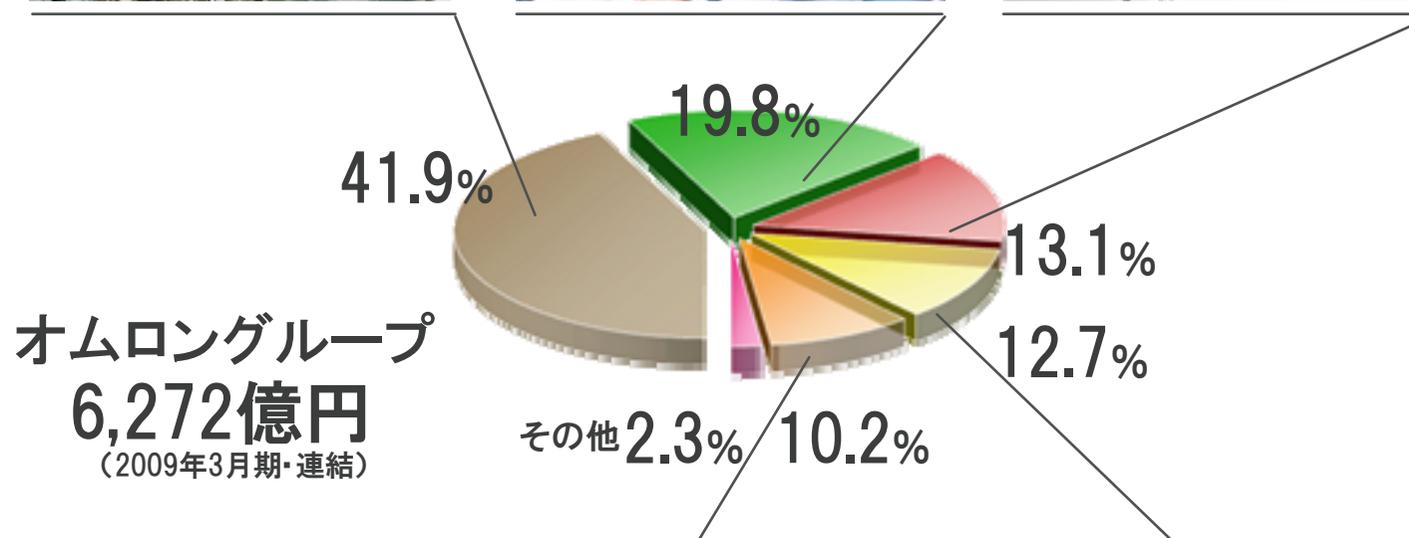
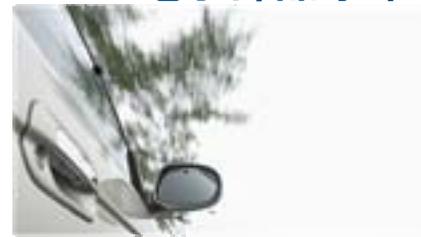
■ 工場自動化用  
制御機器事業



■ 家電・通信用  
電子部品事業



■ 自動車用  
電子部品事業



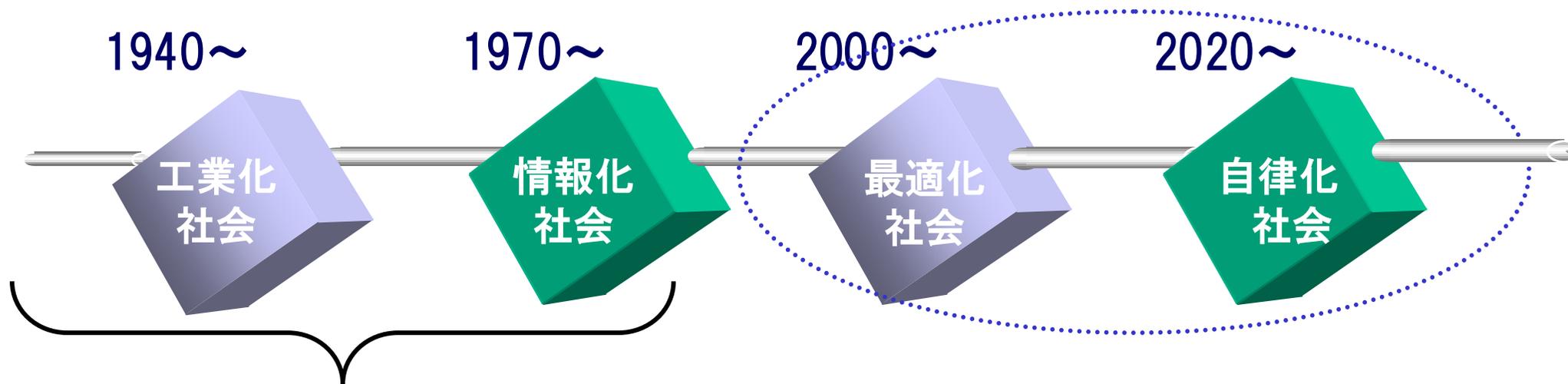
■ 健康・医療機器事業



■ 社会システム事業



➤「物質的な豊かさ」から「心の豊かさ」へ変化



## 今まで

- 大量生産、大量消費
- “生産者”の視点
- “モノ”の世代
- 「生産性」「効率性」

## 現在・そしてこれから

- 生きがい・働きがい
- “生活者”の視点
- “心”の世代
- 「安心」「安全」「健康」「環境」

オムロンの概要 P. 3

**連結業績見通しについて P. 11**

株主還元について P. 14

健康・医療機器事業について P. 17

- 2009年度は危機対応の緊急対策期間と位置付ける
- 中長期の収益基盤の再構築に向け2010年度末までに構造改革を完遂

## 緊急対策・構造改革

### 緊急対策

#### 2009年度営業利益黒字化

- 利益の創出
  - ・経費削減
  - ・不採算・低採算事業の収束
- キャッシュフローの創出
  - ・投資の抑制
  - ・在庫の削減

### 構造改革

#### 中期的な収益基盤の強化

- 事業領域の改革
  - ・主力の制御3事業の再構築
    - 工場自動化用制御機器事業(IAB)
    - 家電・通信用電子部品事業(ECB)
    - 自動車用電子部品事業(AEC)
- 運営構造改革
  - ・生産拠点の統廃合
  - ・変動費構造改革 等

➤ 第3四半期以降も国内設備投資低迷、原材料高騰等を想定し、売上・利益ともに  
期初計画どおりを見込む

全社PL	(億円)		
	2010/3期 見通し	2009/3期 実績	前期比
売上高	5,100	6,272	81.3%
営業利益	0	53	—
税引前当期純利益	△35	△391	—
当期純利益(当社株主に帰属する)	△20	△292	—

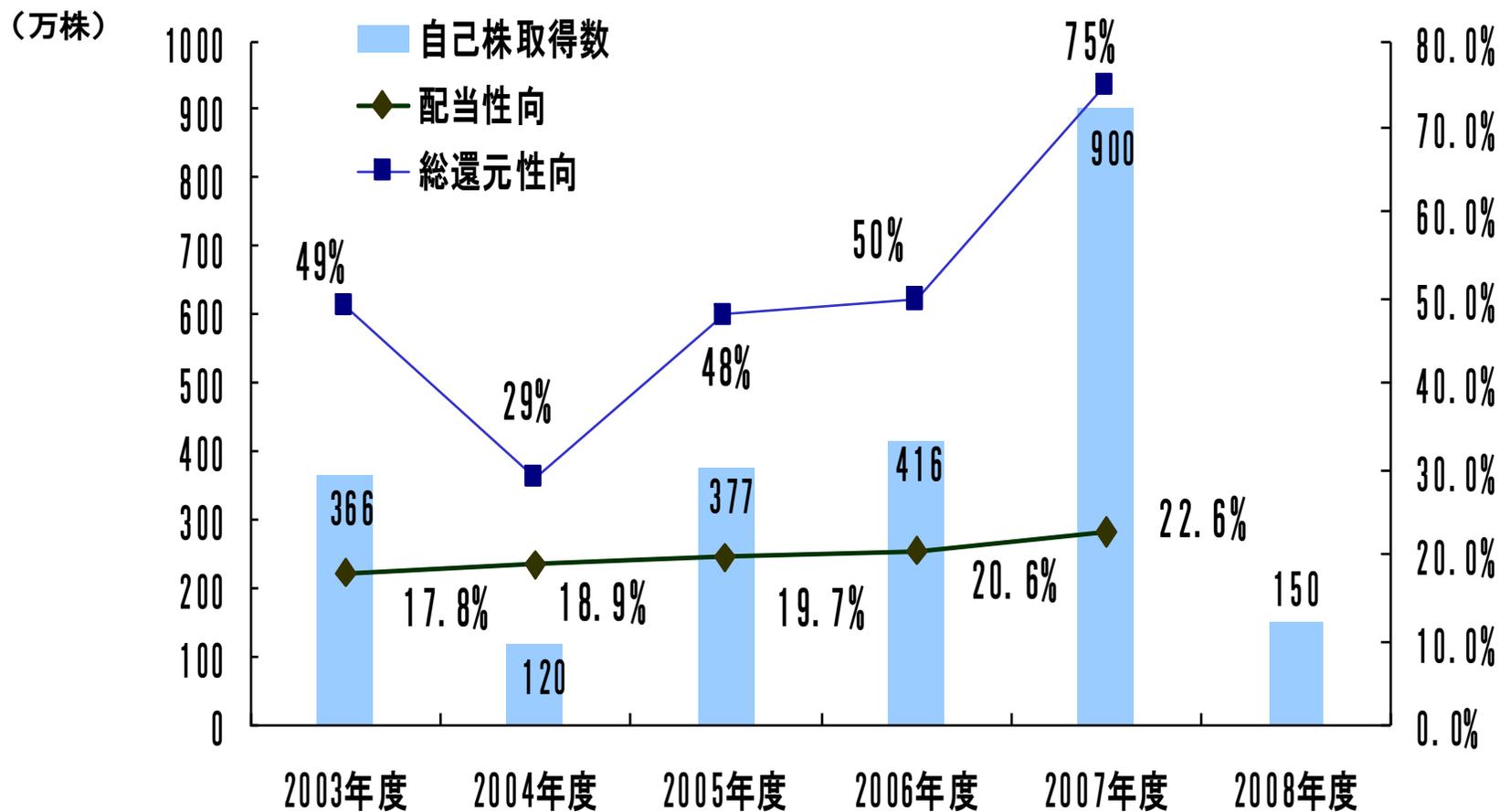
オムロンの概要 P. 3

連結業績見通しについて P. 11

**株主還元について P. 14**

健康・医療機器事業について P. 17

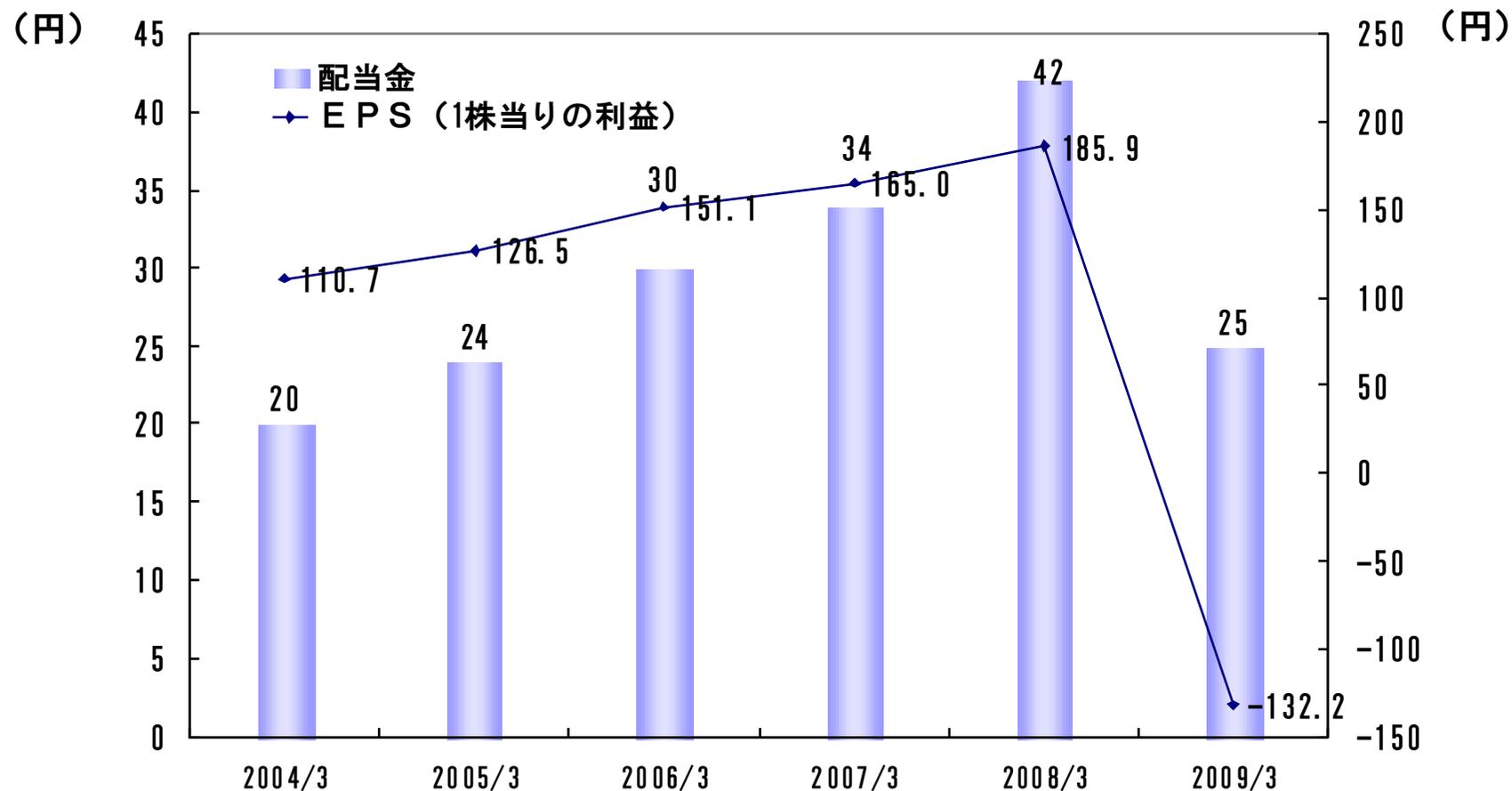
- 直接還元である配当は最低20%の配当性向維持
- 自社株買入れによる間接還元もあわせ高い総還元を目指す



\*総還元性向 = 配当 + 自己株取得

\*2008年度は、当期純利益がマイナスのため、配当性向・総還元性向は算出出来ません

- ITバブル以降、株主配当は業績伸張とともに順調に増加してきた
- 2008年度は当期利益の大幅赤字計上にもかかわらず25円の配当実施



\*2010年3月期第2四半期の配当金は7円でした

\*2008年3月期の配当金には、5円の記念配当が含まれています

\*2004年3月期の配当金には、7円の記念配当が含まれています

オムロンの概要 P. 3

連結業績見通しについて P. 11

株主還元について P. 14

**健康・医療機器事業について P. 17**

## ➤健康・医療機器事業は、オムロンヘルスケア株式会社が実施

### オムロンヘルスケア株式会社の概要

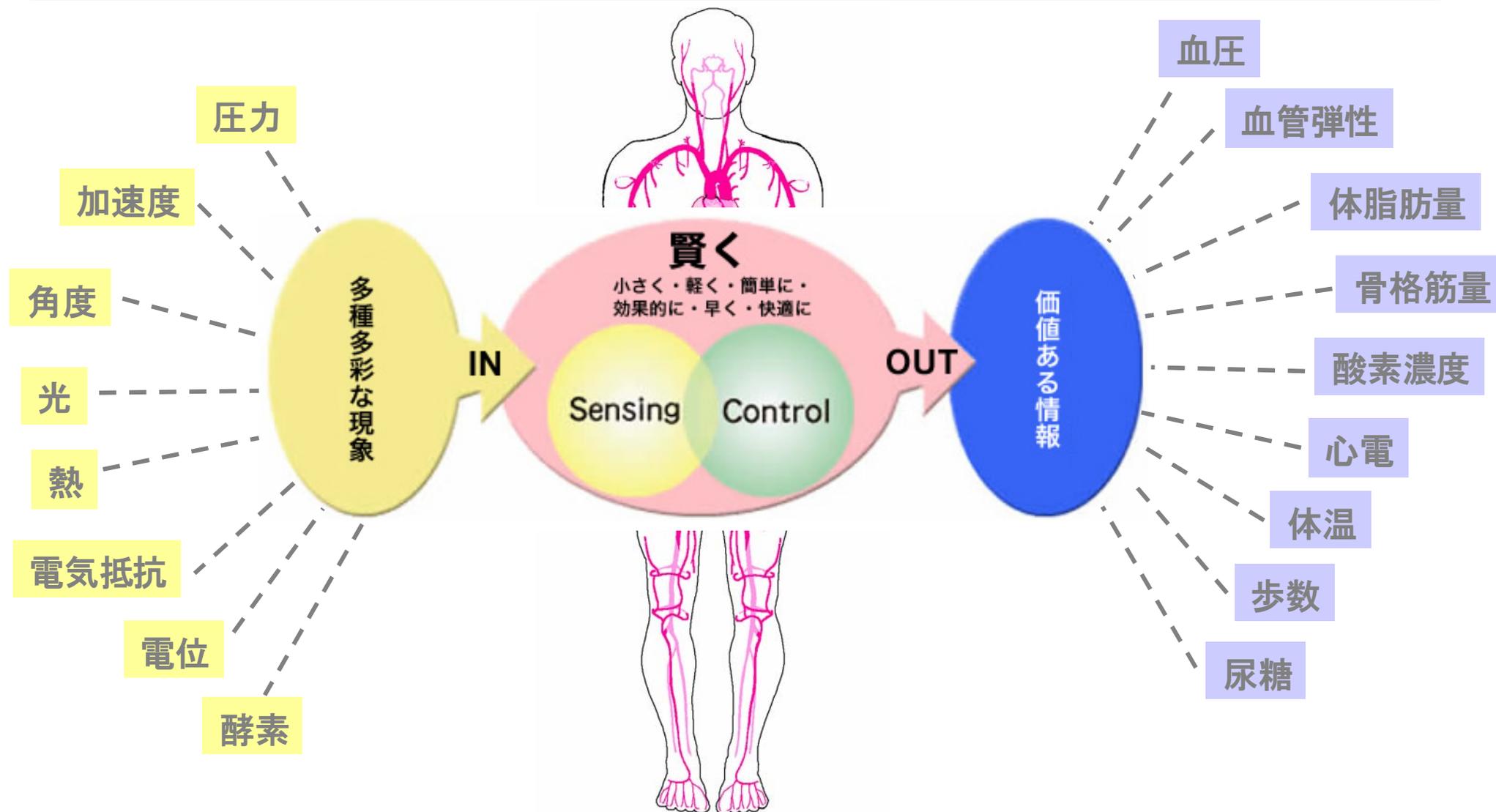
設立年月日	2003年7月1日
本社所在地	京都府京都市
資本金	50億円
売上高	638億円（2009年3月期連結）
従業員数	3,680人（国内1,070人／海外2,610人）
研究開発拠点	2拠点（日本：京都府／中国：大連）
生産拠点	4拠点（日本：三重県／中国：大連市／ベトナム／米国）
国内営業拠点	8拠点（札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、高松、福岡）
海外営業法人	9拠点（米国、欧州、シンガポール、中国、メキシコほか）

オムロングループ  
売上高構成比  
(2009年3月期・連結)



健康・医療機器事業  
(オムロンヘルスケア事業)  
10.2%

➤オムロンの強みである「センシング&コントロール」技術により、  
人体の「多種多様な現象」を「価値ある情報」に変換します



## ➤ 家庭から医療現場まで幅広い商品を提供



電動歯ブラシ



電子体温計



上腕式血圧計



血圧脈波測定装置



血圧脈波測定装置



歩数計



手首式血圧計



ソーラー血圧計



生体情報モニタ



体重体組成計



低周波治療器



ネブライザ



携帯型心電計



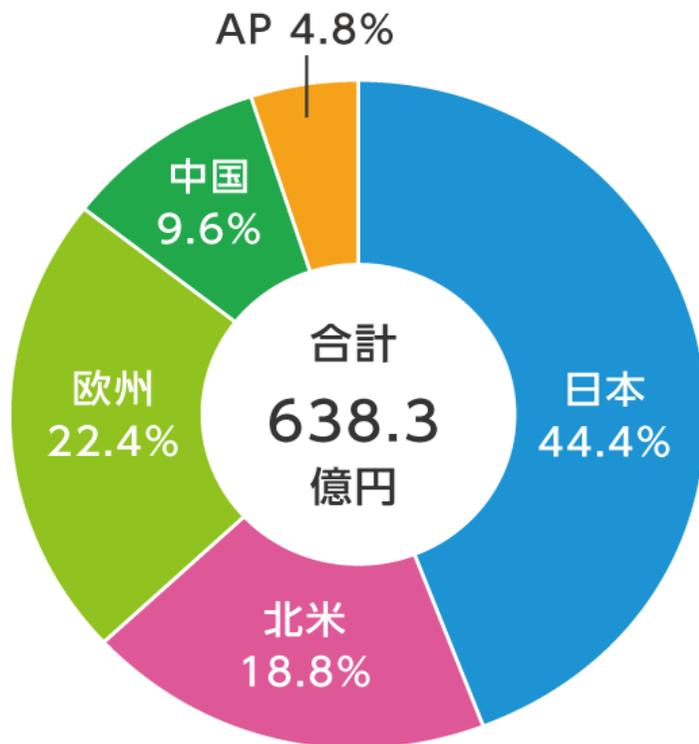
医療向け血圧計

家庭

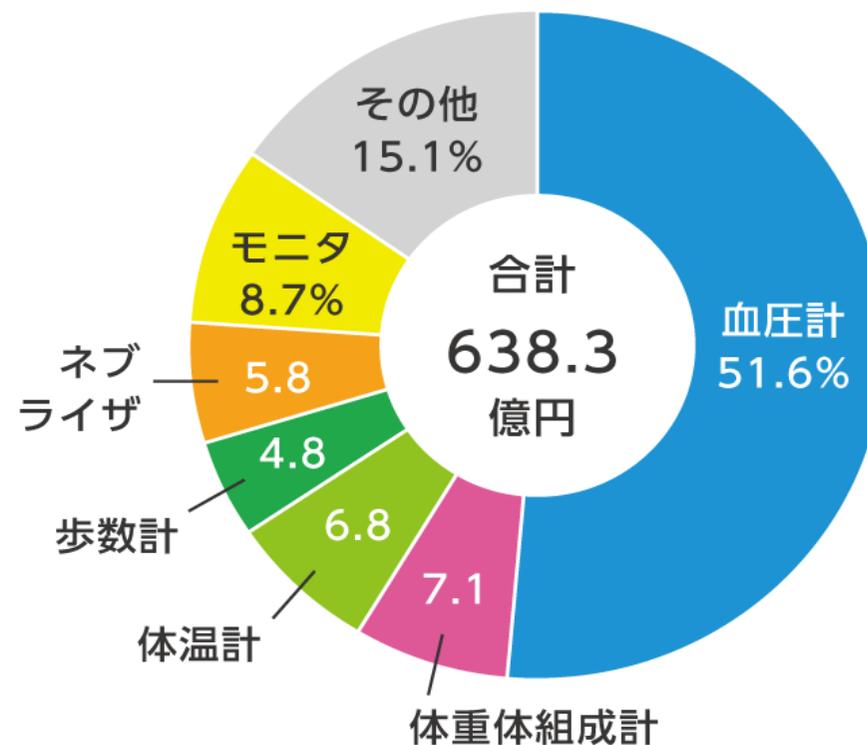
医療機関

## ➤ 血圧計を事業の柱として世界中で展開

地域別

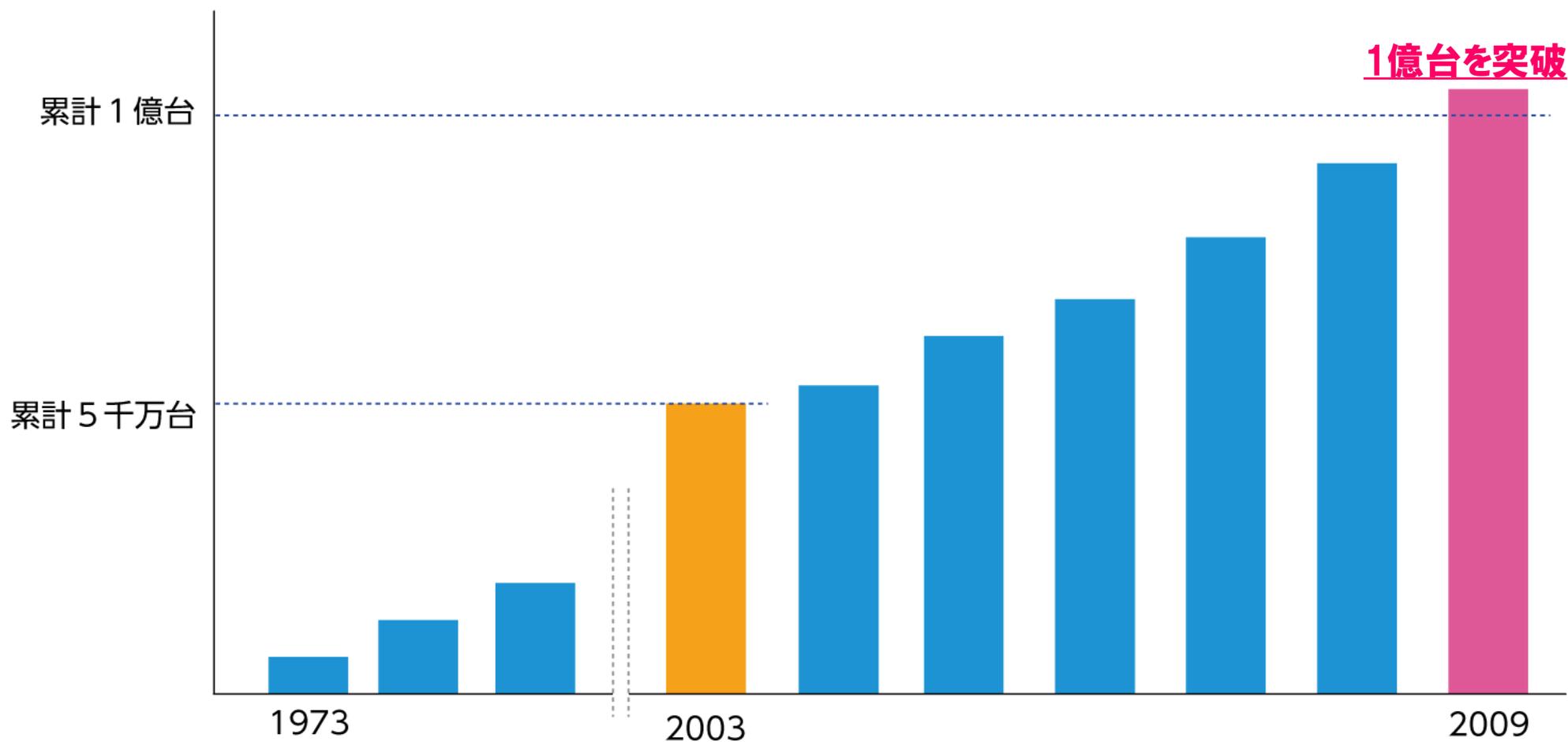


製品カテゴリー別

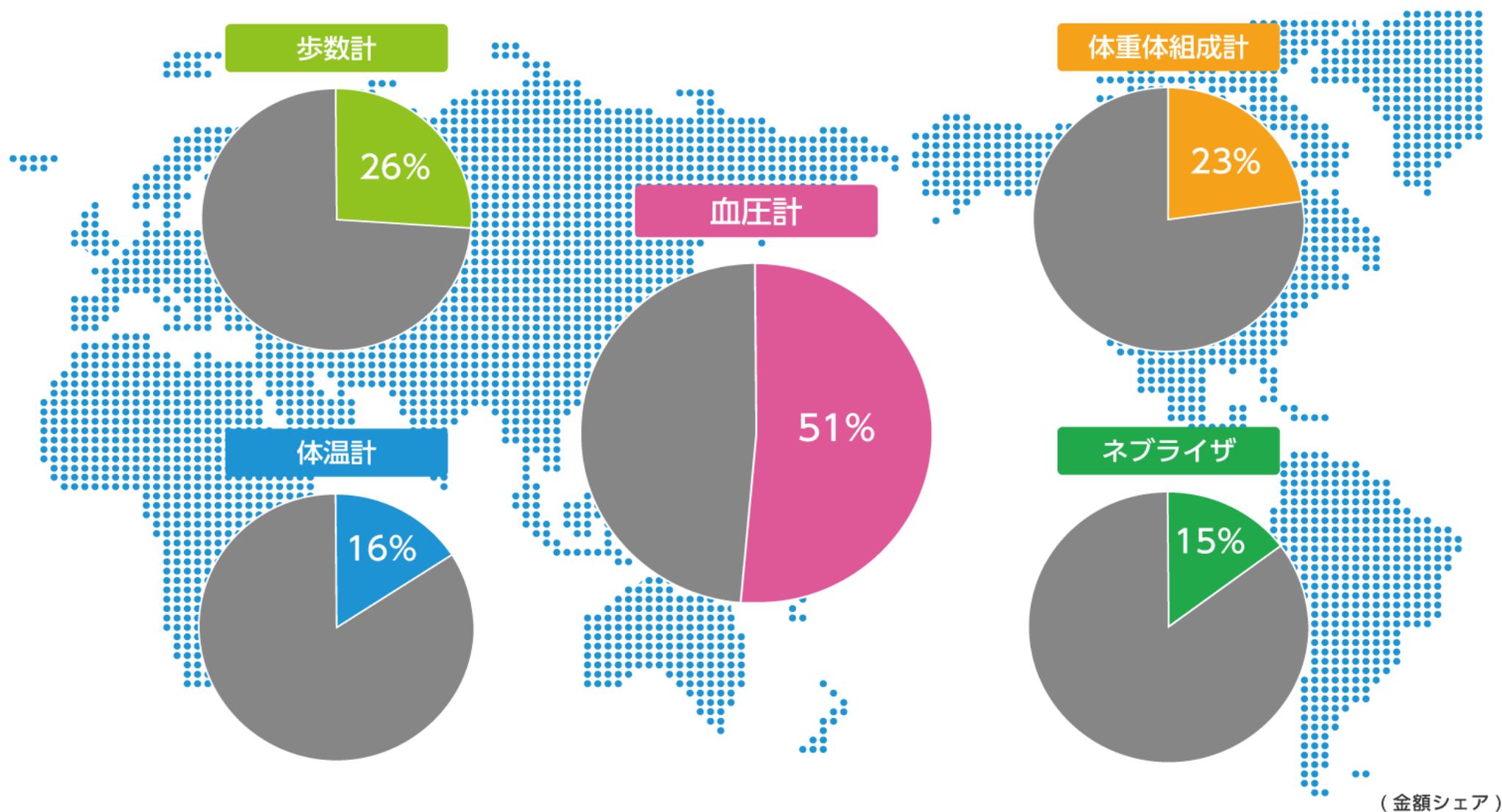


(2008年度実績)

➤ 2003年までの30年間で5,000万台、その後、世界展開を加速し、6年間で5,000万台。  
2009年9月に累計販売台数1億台を突破。



## ▶世界で高いマーケットシェアを獲得



➤健康は人類共通の願い。この願いに応えていくことが、オムロンヘルスケアの最大の使命であり、存在価値であると考えています。

## 【ミッション】

地球上の一人ひとりの健康ですこやかな生活への貢献



## 【事業コンセプト】

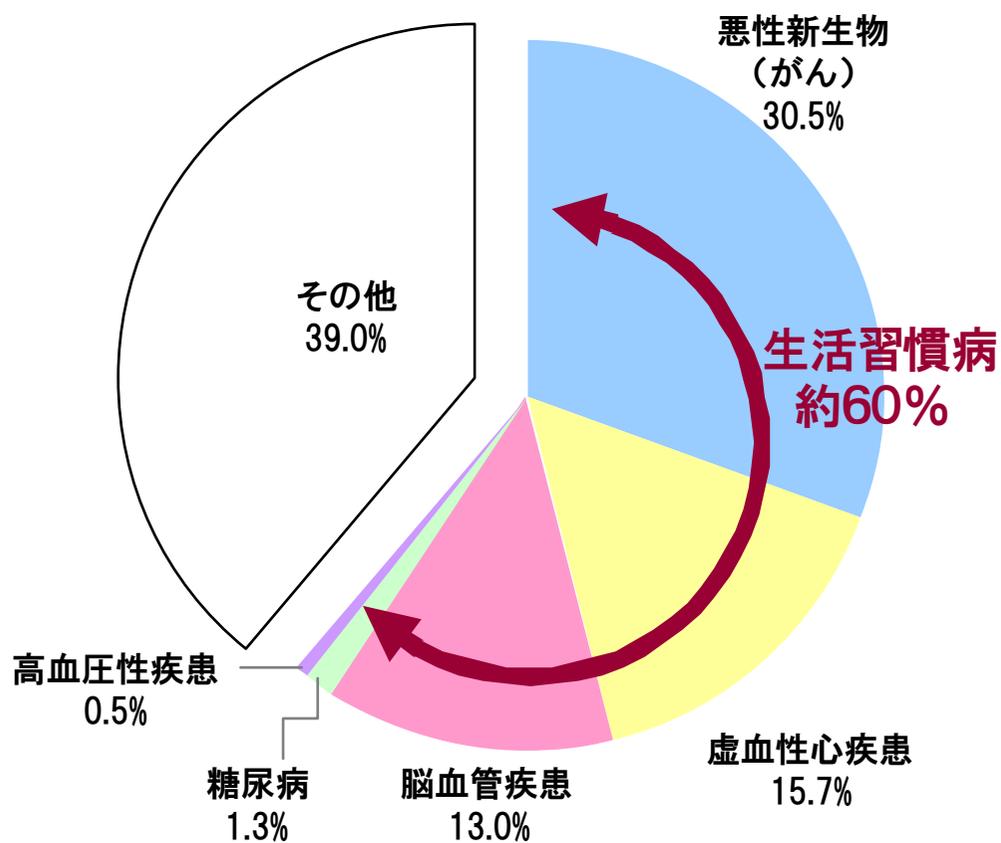
ホームメディカルケア / Healthcare @ Home

## 【事業ドメイン】

生活習慣病の予防・治療領域

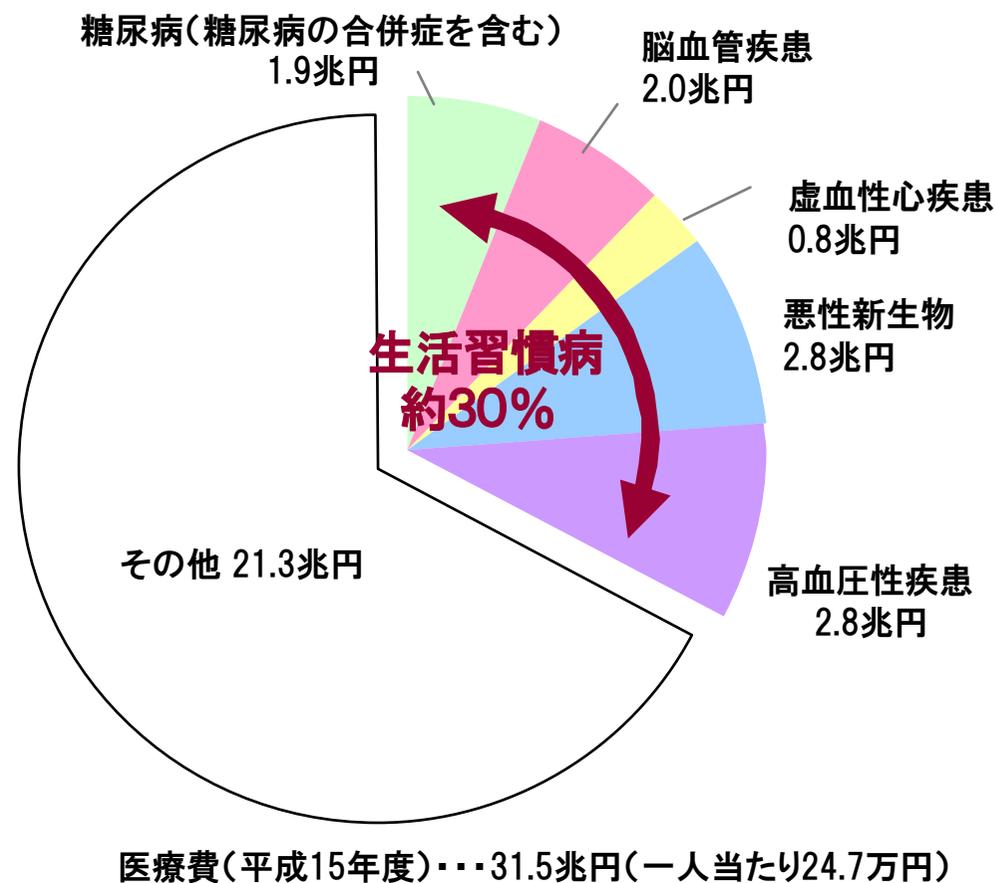
➤生活習慣病は、死亡数割合では約60%を占め、国民医療費の30%を占める

死因別死亡割合(平成15年)



(注)人口動態統計(平成15年)により作成

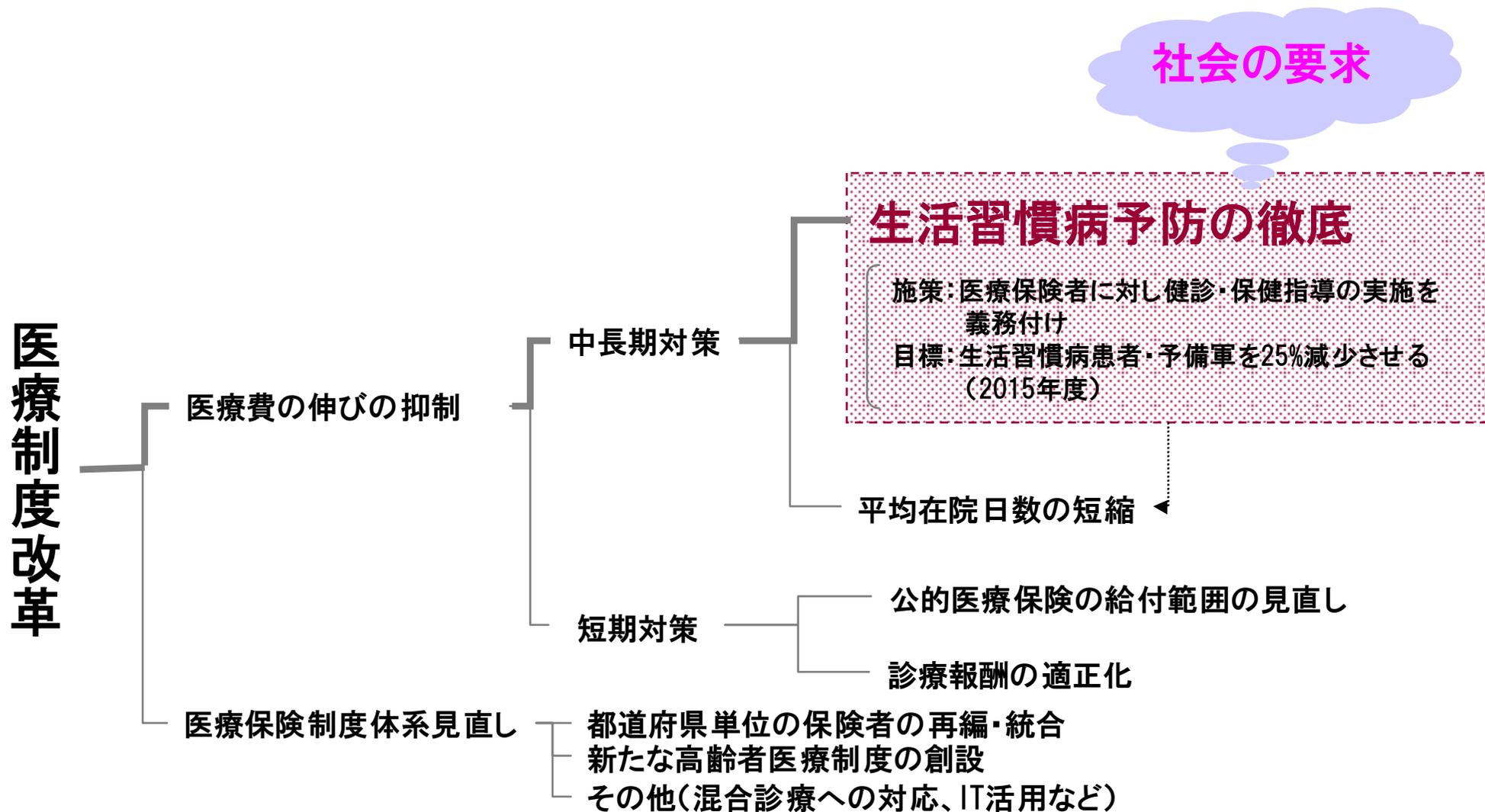
医療費(平成15年度)における生活習慣病の割合



医療費(平成15年度)・・・31.5兆円(一人当たり24.7万円)

(注)国民医療費(平成15年度)、わが国の慢性透析療法の現況(2003年12月31日)等により作成

➤医療費抑制の中長期対策では、「生活習慣病業予防」が柱の一つである



出所：厚生労働省社会保障審議会医療保険部会 第24回部会資料(H17年11月25日)

➤オムロンヘルスケアは、ホームメディカルケア、特に循環器系に注力

## 医療機関

### 治療

- ・手術用モニター
- ・病棟用モニター



### 予防医療 ホームメディカルケア

- ・動脈硬化度  
検査装置
- ・血圧計
- ・心電計



### 健康増進

- ・体組成計
- ・歩数計



## 家庭

## 先端の技術と商品の例(体温計)

「きちんと検温できている？」  
“わきぴたセンサ”が、  
その不安を解消します。

すばやい検温を  
音と光でサポートする  
新しい体温計



60秒  
予測検温

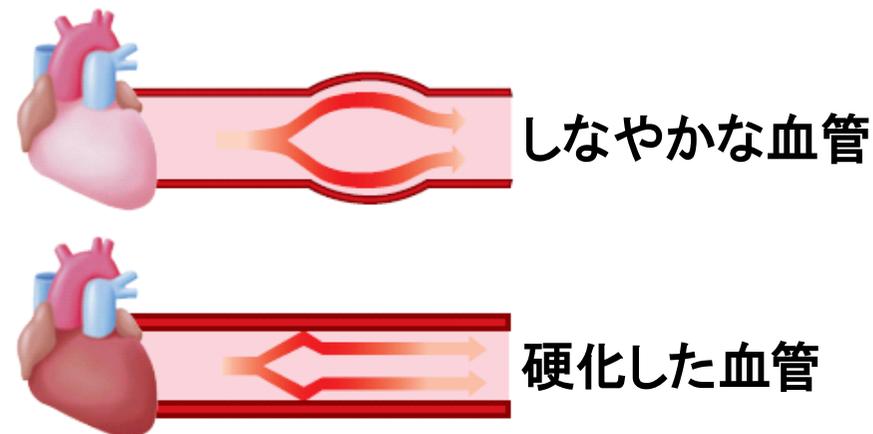


しっかりはさめていると  
「緑色」のランプが点灯。  
正しく検温が開始された  
ことを確認できます。

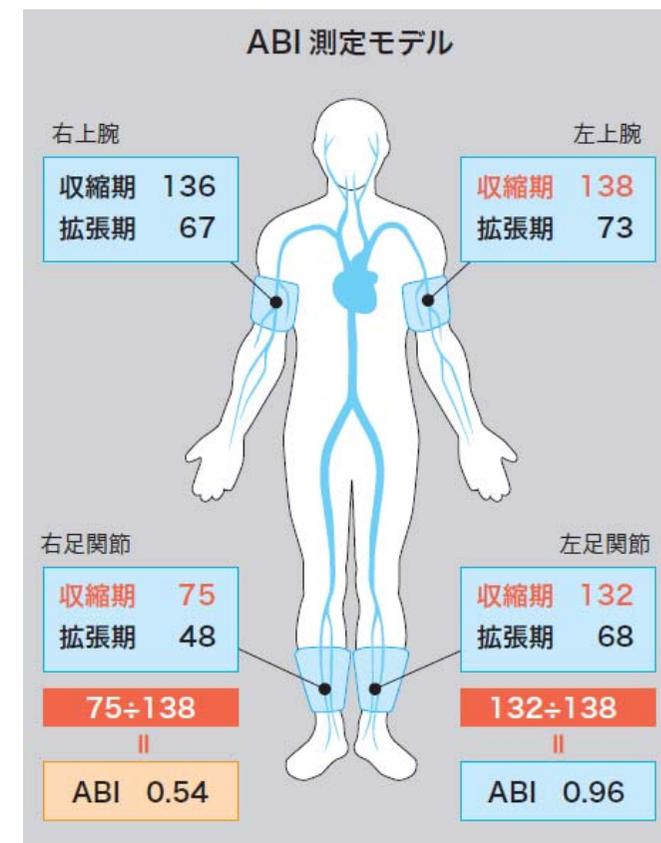


検温中にわきからずれると  
「赤色」のランプとブザー  
でお知らせ。はさみ直す  
と検温を続けられます。



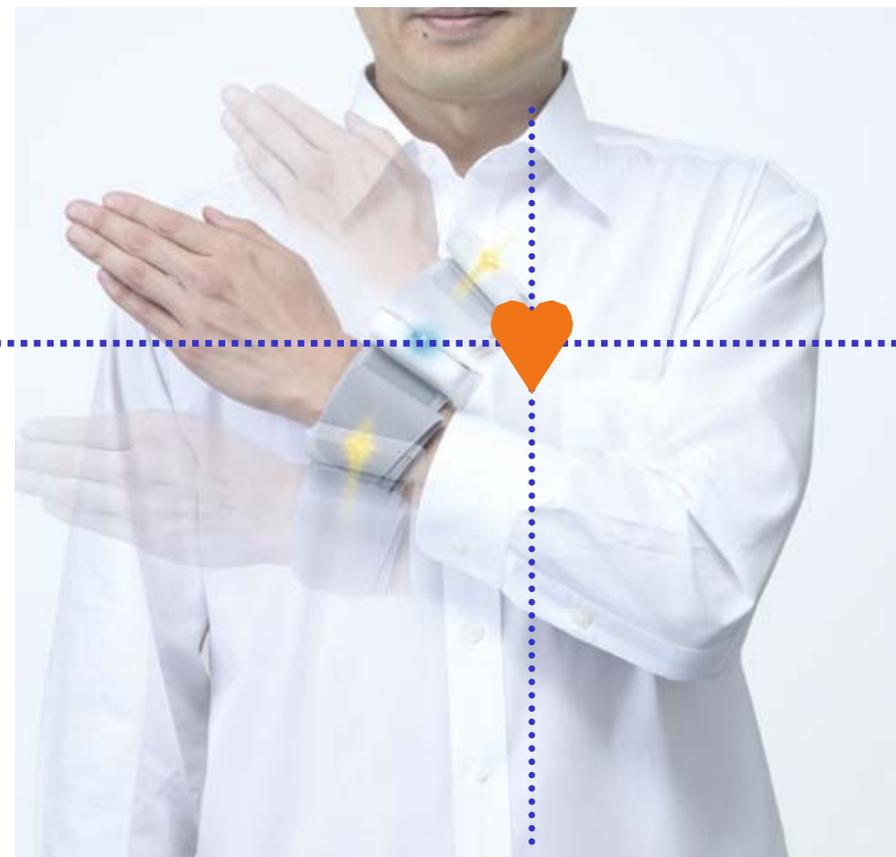


血管の硬化度と  
下肢動脈の閉塞を  
簡易に計測



日本発！光と音で  
正しく測定できる姿勢を  
ご案内

手首が適切な測定位置(心臓の  
高さ)になると、光と音でお知ら  
せ。初めての方でも簡単に正しい  
姿勢で測定できます



## ➤ 循環器関連学会への参加や、学会が主催/共催する市民公開講座への参加



**第32回 日本高血圧学会総会** 参加無料  
定員700名

### 市民公開講座「血圧を下げて元気で長生き」

**ご案内**

ご自身が高血圧の方、ご家族が高血圧の方など、どなたでも無料でご参加いただけます。  
会場に「無料血圧測定コーナー」を設け、抽選で10名様に最新の血圧計を進呈いたします。

●日時：2009年10月3日(土) 午後2時30分～4時30分  
【無料血圧測定コーナー：午後1時～午後5時】

●会場：大津プリンスホテル「プリンスホール」(3階)  
滋賀県大津市におの浜4-7-7 電話：077-521-1111

■開会挨拶：上島 弘嗣 第32回日本高血圧学会総会 会長、滋賀医科大学生活習慣病予防センター 特任教授  
■司 会：戸田 昇 滋賀医科大学名誉教授、トヤマ循環器病治療薬研究所 所長  
浅野 定弘 滋賀県医師会 会長

**講演1** 食べて血圧を下げる  
—世界調査でわかった元気で  
きれいになる秘訣—  
家森 幸男 京都大学名誉教授  
武庫川女子大学国際健康開発研究所 所長

**講演2** 運動の降圧・その他の効用  
荒川 規矩男 福岡大学名誉教授  
日本高血圧協会理事長

**講演3** 降圧薬の正しい内服法  
日和田 邦男 愛媛大学名誉教授  
日本高血圧協会専務理事

●参加を希望される方は事前にお申込みください。  
下記要領でお申込みいただいた方へ参加券をお送りします。  
応募多数の場合は抽選の上、参加券の発送をもって座席に  
替えさせていただきます。なお、当日、空席がある場合には  
参加券なしで入場いただけますが、参加券をお持ちの方  
を優先いたします。

【お申込方法】  
ハガキにお名前、ご住所、電話番号、年齢、性別、参加人数  
を明記の上、下記までお申込み下さい。ファックス、e-mail  
でもお申し込みいただけます。なお、9月25日までにお申込み  
いただいた方には参加券を郵送致します。  
●申込ハガキに記載された情報は、上記市民公開講座への出席確認、申込書  
発送、運賃のみに利用し、その他の目的には使用しません。

【お申込先】  
〒108-0041 東京都港区麻布台2-3-22 一番倉ビル  
株式会社 コンベックス 内  
「第32回日本高血圧学会総会 市民公開講座」事務局 宛  
電話：03-3583-6676 ファックス：03-3589-3974  
e-mail：jsh32@convex.co.jp

主催：第32回日本高血圧学会総会、日本高血圧協会  
後援：滋賀県、滋賀県医師会、社団法人日本循環器管理研究協議会、日本心臓財団、オムロンヘルスケア株式会社  
協賛：バイエル薬品株式会社

学会ホームページ <http://jsh32.umin.na.jp/index.html>

医院の待合室に掲示されたポスター

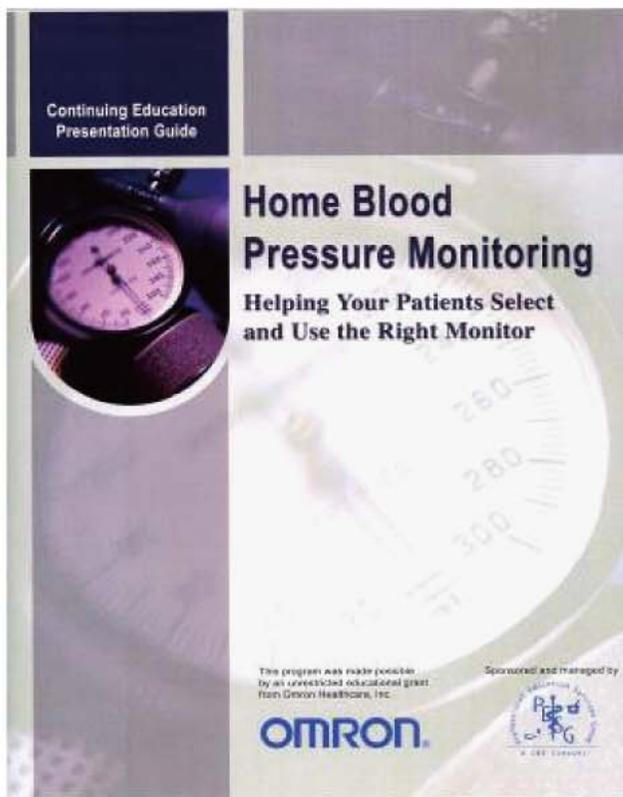


会場入り口前で血圧の測定会  
滋賀医科大学の医師・看護師が担当

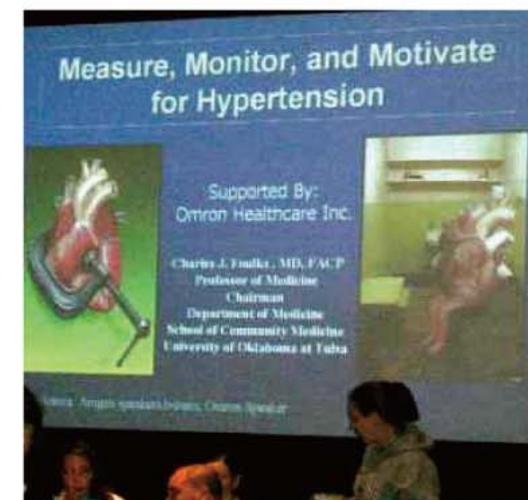


約 500 名の聴講者が参加

## ➤ 薬剤師継続学習プログラムに血圧測定プログラムを提供



通信教育教材



## ➤ 薬剤師向け広告や全米心臓病協会の血圧WEBサイトの協賛等、様々な活動を実施



**SOME NUMBERS CAN'T WAIT UNTIL YOUR NEXT CHECK UP**

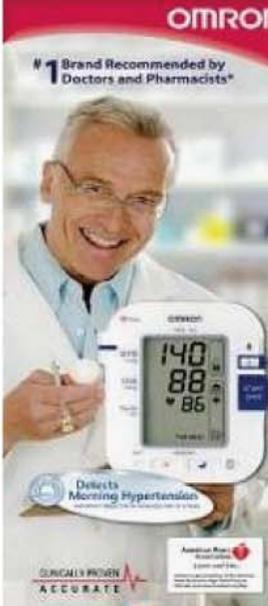
**And there's none more vital than your blood pressure.**  
Research shows home blood pressure monitoring can be vital to reducing your risk of stroke and heart attack<sup>1</sup>. The new Omron BP755 Home Blood Pressure Monitor gives you the accuracy, ease of use, comfort and peace of mind that is...**vital to you.**

**An easy way to track blood pressure:**

- Simple, one-button operation for fast, accurate results
- ComFit™ Cuff design expands to fit most arm sizes
- 90-reading storage capacity ensures easy tracking
- #1 brand in home blood pressure monitors
- #1 brand recommended by doctors

**FSA** **OMRON**  
ACCURACY COUNTS. TRUST OMRON™

1. Pickering et al. J Am Soc Hypertens 2008;21(9):191-200



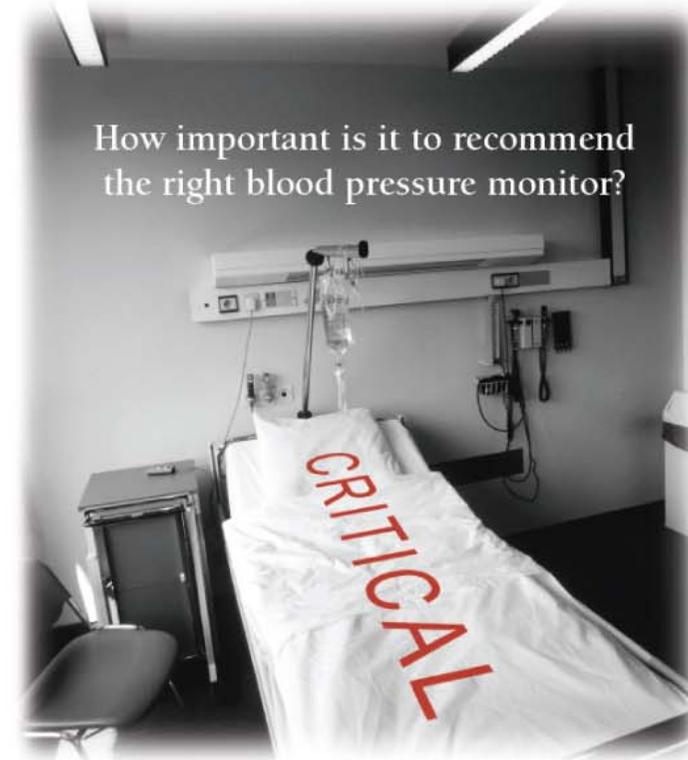
**OMRON**

**#1 Brand Recommended by Doctors and Pharmacists\***

**Deletes Measuring Hypertensives**

**Clinically Proven ACCURATE**

**Automatic Blood Pressure Cuff**



How important is it to recommend the right blood pressure monitor?

For the safety of your patients.



Omron blood pressure monitors are the #1 brand recommended by doctors and pharmacists<sup>1</sup>. Why? Omron's patented *IntelliSense*® technology automatically senses systolic blood pressure, ensuring consistent, clinically proven accurate and reliable readings. And Omron's unique *ComFit*™ cuff offers the comfort and ease-of-use patients prefer – which means patients are more likely to be compliant with their monitoring. Those factors—accuracy and compliance—can make a critical difference to a patient's safety and life. Recommend Omron, the brand you and your patients can trust.

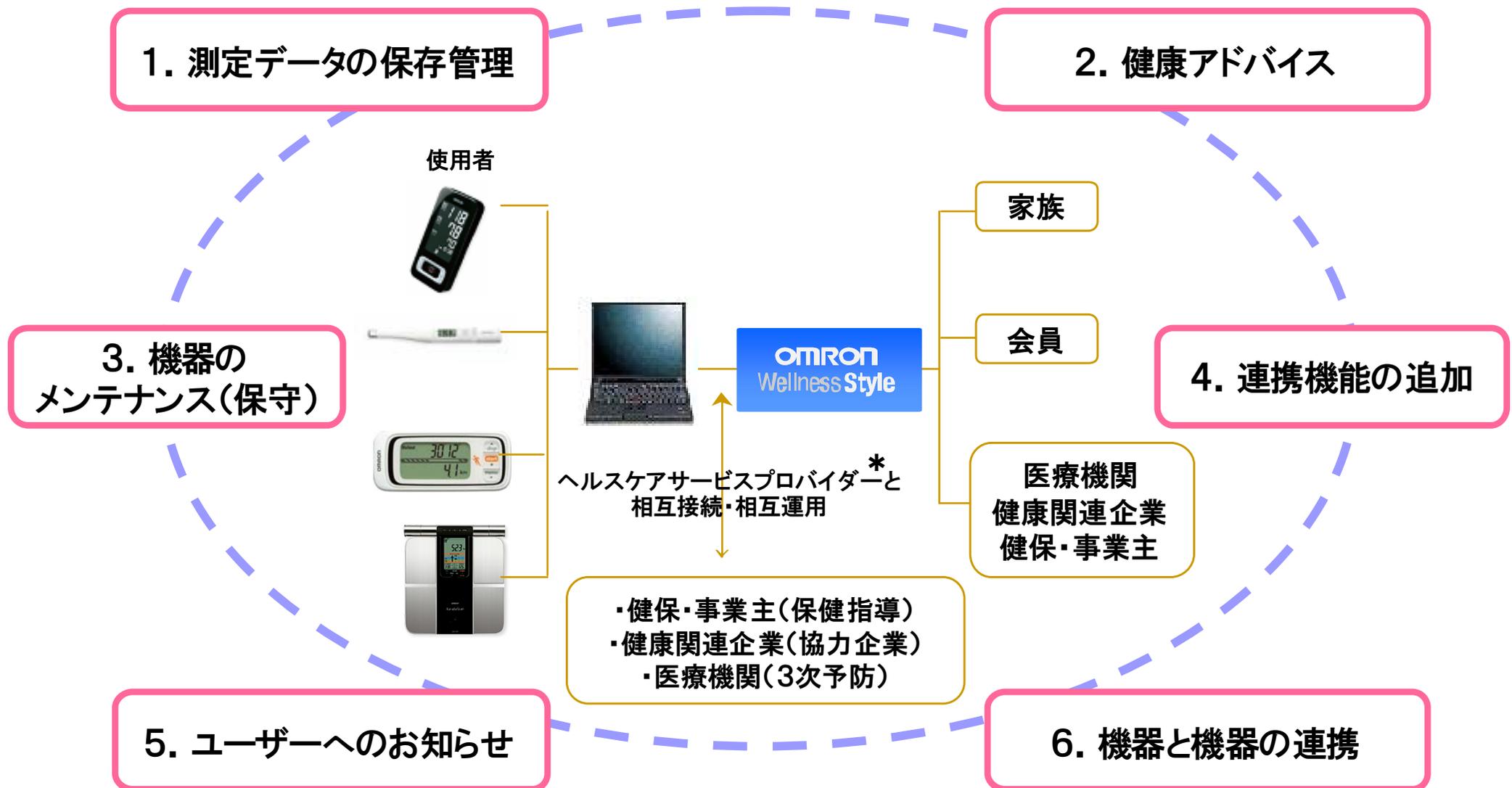
A Good Sense of Health

1. Data on File  
2. Topouchia A, Jatur, et al Validation of the Omron B67 device for blood pressure measurement according to the international validation protocol. Int J Clinical Hypertension Suppl. A Vol. 6, No. 3, July 2004, Pg. 130

**OMRON**

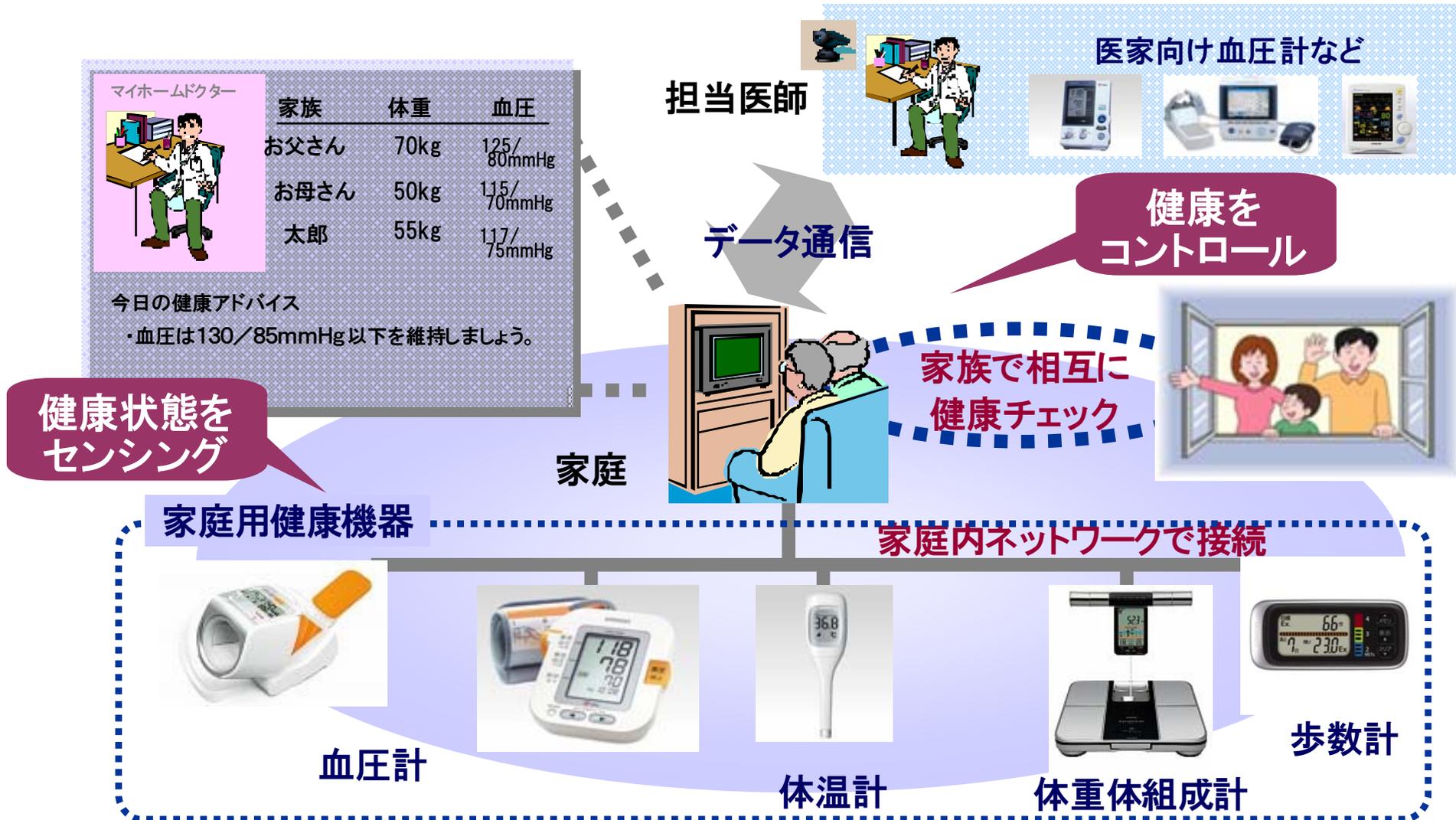
www.omronhealthcare.com | United States 847.680.6200 | Canada 866.667.6627, ext. 102 | Latin America 847.247.5621

➤「商品の高付加価値化」を図り、商品とサービスが双方向で連携する新しい価値を創造



\*プロバイダー: インターネットへの接続サービスを提供する業者

➤ 各人の健康状態を家庭で正確に測定し、担当医師とデータを共有したり、遠隔地の家族と相互に健康確認ができるように



# センシング & コントロール技術で 「安心・安全、健康、環境をカタチに」



＜お問い合わせ＞

オムロン株式会社

IR企業情報室 経営IR部

電話 : 03-3436-7170

E-mail : [omron\\_ir@omron.co.jp](mailto:omron_ir@omron.co.jp)

HPアドレス : [www.omron.co.jp](http://www.omron.co.jp)